

やとみのよさん



令和2年度弥富市当初予算のあらまし



弥 富 市

予算の概要



予算って何？

市（市役所）は、市民の皆さんが安心して快適な生活を送ることができるように、皆さんの生活に関わるいろいろな仕事をしています。戸籍や住民票等の発行、税金の収納、道路や公共施設の補修・維持管理、防災・減災対策、学校や保育所の運営、保険・年金・福祉・医療事業、ごみの収集・処分など、その内容はさまざまです。

市がこのような市民サービスや各種施策を実施するのに必要なお金をどこからどれだけ得て、何にいくら使うのか計画すること、これが予算です。

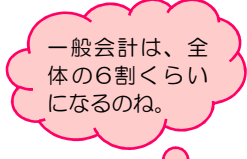
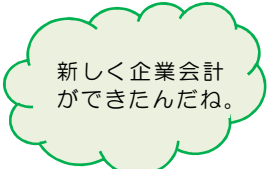
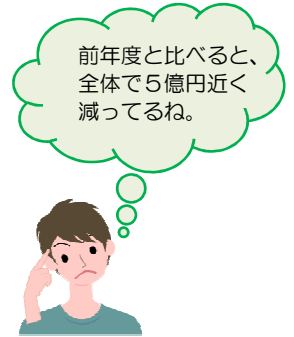
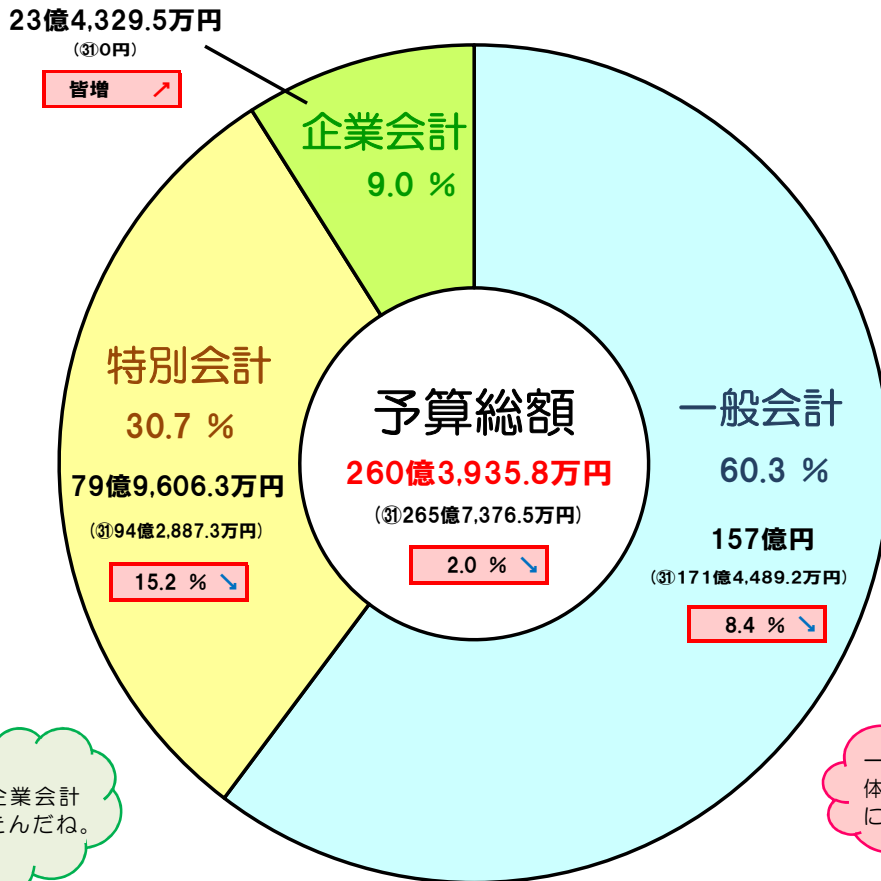


予算っていくらなの？

令和2年度の当初予算の総額

260億3,935.8万円

※一般会計、特別会計、企業会計の合計



Dictionary

当初予算とは、その年度（4月～3月）1年間の予算を最初に決めたものをいいます。これに対して、年度の途中で当初予算が足りなくなったり、余ったりした場合や当初予算にないお金が必要になった場合などに、当初予算を変更するものを**補正予算**といいます。



Dictionary

会計とは、お金の出し入れをする“財布”のようなものです。市の会計は、内容によっていくつかの種類に分けられていて、皆さんが市に納める税金や国・県からの交付金などを使うものを**一般会計**といい、市の仕事を行う上での基本的な会計です。これに対して、皆さんにお支払いいただく保険料で療養費の給付などの保険事業を行うように、そのお金の使い道が決まっているものを**特別会計**、民間企業と同様に皆さんにお支払いいただく料金収入などにより運営するものを**企業会計**といい、一般会計とは区別されます。



特別会計・企業会計ってどんなものがあるの？

区 分	予 算 額	増 減
土地取得特別会計	1.3万円 (③1.3万円)	0.0% →
国民健康保険特別会計	40億1,144万円 (③40億2,200万円)	0.3% ↘
後期高齢者医療特別会計	6億5,638万円 (③5億7,851万円)	13.5% ↗
介護保険特別会計	33億2,823万円 (③31億4,035万円)	6.0% ↗
農業集落排水事業特別会計	0円 (③4億1,100万円)	皆減 ↘
公共下水道事業特別会計	0円 (③12億7,700万円)	皆減 ↘
特別会計合計	79億9,606.3万円 (③94億2,887.3万円)	15.2% ↘
下水道事業会計	23億4,329.5万円 (③0円)	皆増 ↗
企業会計合計	23億4,329.5万円 (③0円)	皆増 ↗



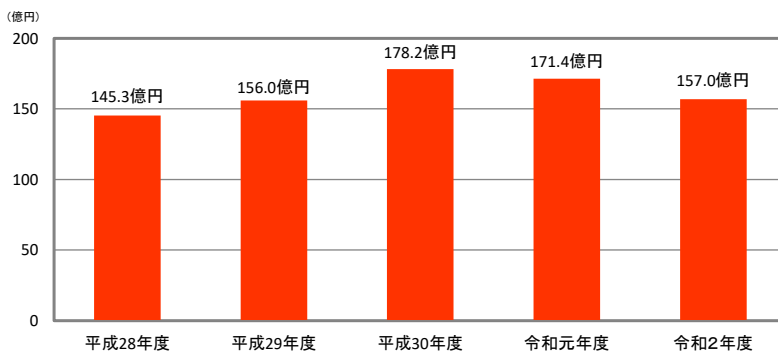
予算ってどうやって決まるの？

予算は、市長が予算案を作成して議会に提出し、議会での審議を経て、議決されることにより成立します。予算が成立してはじめて、市は市民サービスや各種施策を行うための費用を支出することができるようになります。



これまでとどのくらい違うの？

最近5年間の一般会計当初予算額の推移



令和2年度の一般会計の予算は、過去3番目に大きい予算なんだね。



一般会計の歳入と歳出

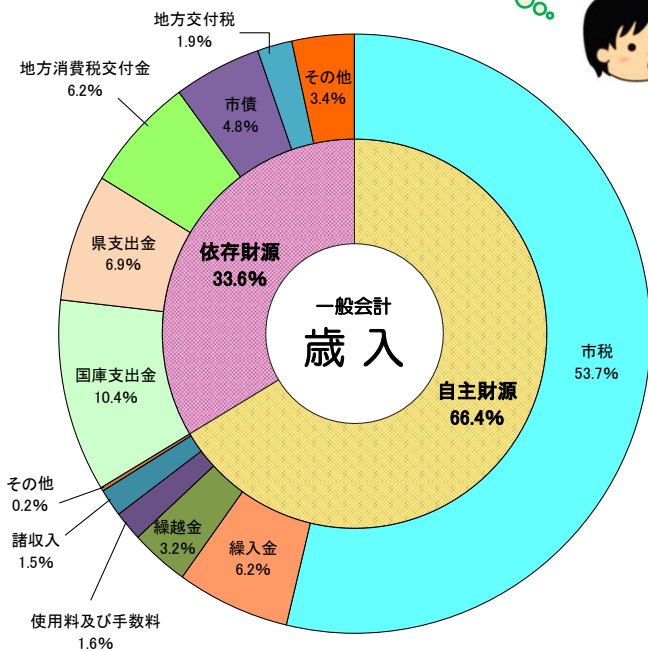


歳入と歳出って？

家庭では、給料や事業利益などの収入を得て、ここから生活に必要な費用を支出します。この家庭での収入と支出が市での歳入と歳出です。つまり、市が仕事をするために、得るお金が歳入、使うお金が歳出です。

一般会計の歳入には、市民の皆さんに納めていただく税金のほか、国・県からの交付金や補助金、借入金、皆さんが施設等を利用した際に負担していただく使用料や手数料などがあります。市はこの歳入のお金を使って、まちづくりや市民サービスに関する各種事業（歳出）を行います。

歳入

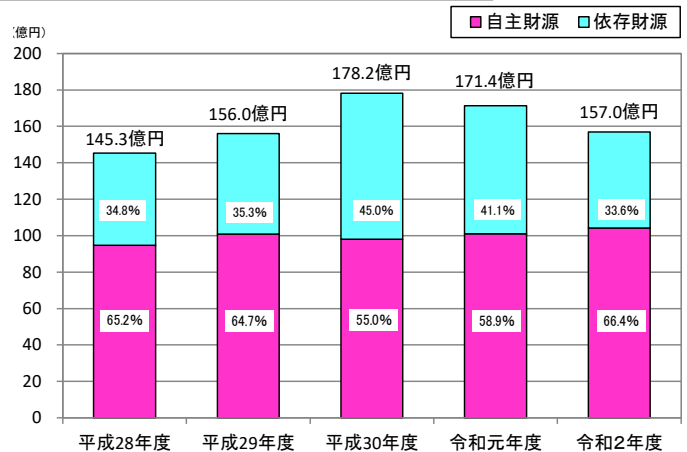


弥富市の自主財源比率は、毎年だいたい6割ってとこだね。



自主財源と依存財源の割合の推移

※当初予算額での比較



Dictionary

歳入総額に占める自主財源の割合を**自主財源比率**といいます。自主財源比率が高いほど、財政状況が安定しているといえます。

市の歳入って、市民が納める税金以外にも、こんなにたくさんあるんだね。



市税は歳入全体の約半分。国や県からもらうお金や市債などの依存財源は4割程になるんだよ。



合併の特例で地方交付税の中の普通交付税が追加でもらえてるんだよ。でも、これもだんだんと減ってきていて、令和3年度からはもらえないんだ。

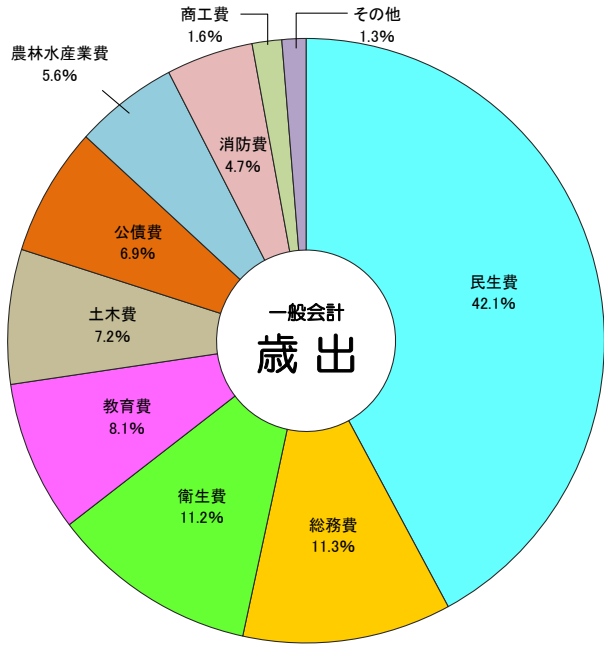


一般会計 歳入内訳

区分	予算額	増減	説明
自主財源	104億2,316.4万円 (⑩100億9,708.1万円)	3.2% ↑	市が自主的に収入するお金
市税	84億3,393.2万円 (⑩83億2,891.1万円)	1.3% ↑	固定資産税、市民税、市たばこ税、軽自動車税、入湯税
繰入金	9億7,687.9万円 (⑩7億4,623.1万円)	30.9% ↑	積立金の取崩しや特別会計から一般会計に移動させたお金
繰越金	5億円 (⑩5億円)	0.0% →	前年度の予算の余りを翌年度に持ち越したお金
使用料及び手数料	2億4,648.4万円 (⑩1億8,862.5万円)	30.7% ↑	公共施設の使用料や保育所の利用料のように、利用者が支払うお金
諸収入	2億4,272万円 (⑩3億898.4万円)	21.4% ↓	預金利子、違約金、延滞利息 など
その他	2,314.9万円 (⑩2,433万円)	4.9% ↓	土地の貸付けなどによる財産収入、分担金や負担金 など
依存財源	52億7,683.6万円 (⑩70億4,781.1万円)	25.1% ↓	国や県からの交付金・補助金などのお金
国庫支出金	16億3,244.3万円 (⑩16億6,455.5万円)	1.9% ↓	特定の事業のために国から交付されるお金
県支出金	10億8,039.2万円 (⑩12億5,615.6万円)	14.0% ↓	特定の事業のために県から交付されるお金
地方消費税交付金	9億8,000万円 (⑩8億2,400万円)	18.9% ↑	県が徴収した地方消費税の中から、市に交付されるお金
市債	7億5,650万円 (⑩22億260万円)	65.7% ↓	国や金融機関などから借りるお金
地方交付税	2億9,300万円 (⑩4億4,300万円)	33.9% ↓	国が徴収した税金(所得税など)の中から、市の財政状況に応じて交付されるお金
その他	5億3,450.1万円 (⑩6億5,750万円)	18.7% ↓	土地の貸付けなどによる財産収入、分担金や負担金 など
合計	157億円 (⑩171億4,489.2万円)	8.4% ↓	



歳出



民生費が一番大きくて、歳出全体の4割くらいを占めているね。

高齢者や児童、障がい者の福祉だったり、子育て支援なんかがあるからなあ。やっぱり福祉には、たくさんお金が必要なんだね。



一般会計 歳出内訳

区分	予算額	増減	説明
民生費	66億358.1万円 (@64億399.2万円)	3.1% ↑	高齢者・児童・障がい者福祉、生活保護、子育て支援などの事務・事業に使うお金
総務費	17億6,819.6万円 (@38億4,030.7万円)	54.0% ↓	課税・徴収、住民登録、選挙、統計など、市の総括的な事務・事業に使うお金
衛生費	17億6,080.9万円 (@11億3,106.7万円)	55.7% ↑	ごみ処理や公害対策など、環境・保健衛生に関する事務・事業に使うお金
教育費	12億6,864万円 (@12億9,12.3万円)	4.9% ↑	学校の運営や公民館活動、スポーツ振興などに使うお金
土木費	11億3,039.5万円 (@9億4,188.4万円)	20.0% ↑	道路・公園などの施設の整備や維持管理、都市計画事業などに使うお金
公債費	10億8,633.1万円 (@11億728万円)	1.9% ↓	借りたお金(市債)の返済金
農林水産業費	8億8,242.8万円 (@11億1,570万円)	20.9% ↓	農業や林業、漁業を始めとした水産業の支援・活性化、土地改良事業などに使うお金
消防費	7億3,548.5万円 (@3億3,919.5万円)	12.4% ↓	消防活動や災害対策のために使うお金
商工費	2億5,079万円 (@3億5,737.8万円)	29.8% ↓	中小企業の支援や観光振興、労働者福祉などに使うお金
その他	2億1,334.5万円 (@1億9,896.6万円)	7.2% ↑	議会の運営・活動に使うお金 etc
合計	157億円 (@171億4,489.2万円)	8.4% ↓	

市民1人あたりの歳入・歳出の額

歳入

市民1人あたりが負担する税額

固定資産税 <small>土地や家屋、償却資産(事業用資産)にかかる税</small>	112,644円 (50億2,413.2万円)
市民税 <small>個人の所得や法人の収益に対してかかる税</small>	67,513円 (30億1,120万円)
市たばこ税 <small>たばこの消費に対してかかる税</small>	6,457円 (2億8,800万円)
軽自動車税 <small>軽自動車、自動二輪車などに対してかかる税</small>	2,468円 (1億1,010万円)
入湯税 <small>温泉に入るときにかかる税</small>	11円 (50万円)
合計	189,093円 (84億3,393.2万円)

歳出

市民1人あたりに使われる金額

民生費	148,056円 (66億358.1万円)
総務費	39,644円 (17億6,819.6万円)
衛生費	39,478円 (17億6,080.9万円)
教育費	28,444円 (12億6,864万円)
土木費	25,344円 (11億3,039.5万円)
公債費	24,356円 (10億8,633.1万円)
農林水産業費	19,784円 (8億8,242.8万円)
消防費	16,490円 (7億3,548.5万円)
商工費	5,623円 (2億5,079万円)
その他	4,783円 (2億1,334.5万円)
合計	352,002円 (157億円)

* 金額は、それぞれの予算額(カッコ内の額)を令和2年1月1日住民基本台帳人口の44,602人で割ったものです。



難しい用語も、家計に置き換えてみるとわかりやすくなるね。

一般会計を家計に当てはめると...

年間の収入総額を500万円として計算

歳入		市の予算		歳出		市の予算	
家計	金額	市の予算	割合	家計	金額	市の予算	割合
給料などの基本的な収入	316.8万円	市税、地方譲与税、交付金など	99億4,843万円 (63.4%)	食費・日用品などの生活費	191.0万円	人件費、物件費	59億9,920万円 (38.2%)
親などからの援助	95.7万円	地方交付税、国・県支出金	30億584万円 (19.1%)	医療費・教育費など	95.7万円	扶助費	30億442万円 (19.1%)
パート・家賃収入など	16.3万円	分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入など	5億1,235万円 (3.3%)	ローンの返済	34.6万円	公債費	10億8,633万円 (6.9%)
預金の引き出し、前年の残金	47.1万円	繰入金、繰越金	14億7,688万円 (9.4%)	家屋や家電品などの修理	5.8万円	維持補修費	1億6,587万円 (1.1%)
金融機関からの借り入れ	24.1万円	市債	7億5,650万円 (4.8%)	子どもへの仕送りなど	127.5万円	補助費等、貸付金、繰出金など	40億363万円 (25.5%)
合計	500万円	合計	157億円 (100.0%)	家屋の増改築・車の購入など	45.0万円	投資的経費	14億1,210万円 (9.0%)
				貯金	0.9万円	積立金など	2,845万円 (0.2%)
合計	500万円	合計	157億円 (100.0%)				

令和2年度の主な施策

交通対策事業

地域公共交通活性化事業〈継続〉

1億500万円

通学、通勤、通院、買物など市民の生活のための移動手段の確保と公共交通空白地域の解消を目的として、平成22年6月に運行を開始したコミュニティバスについて、引き続き適正かつ効率的で安全な運行に努めるとともに、令和元年度に実施した住民アンケートやワークショップ等について検証を行い、運行方法など社会情勢や市民ニーズの変化に合わせた地域公共交通網形成計画の見直しを図ります。

〔北部・南部・東部の3ルートを中型バス2台・マイクロバス3台で運行〕



福祉関連事業

子ども医療費助成事業〈継続〉

2億870.7万円

中学校3年生までの子どもの保護者に対して医療費の自己負担分を全額助成します。



衛生関連事業

個別予防接種委託事業〈継続〉

1億5,706.9万円

B型肝炎、ヒブ感染症、小児肺炎球菌、4種・2種混合、BCG、麻しん・風しん、水痘、日本脳炎などに加え、ロタウイルス（令和2年10月～）、成人男性の風しんの定期接種に対して全額公費負担します。また、高齢者のインフルエンザ及び高齢者肺炎球菌ワクチン接種は、公費援助を実施します。



市営火葬場建設事業

市営火葬場建設事業〈継続〉

6億5,323.5万円

築40年以上が経過している火葬場の建て替えを行い、環境問題等多種多様な問題を解決し、会葬者が快適かつ安全で安心して故人との最後のお別れが行えるような施設にします。





産業振興事業

農業振興事業〈継続〉

生産調整推進対策の支援事業	3,800万円
土地改良施設整備事業	4,760万円
経営体育成基盤整備事業	645万円
地盤沈下対策事業	3,291.3万円
特定農業用管水路特別対策事業	6,820万円
緊急農地防災事業	3,708万円
多面的機能支払事業	1億4,722.9万円

効率的な営農に向けて、農地集積、農地の適正管理、集約化の推進に取り組むとともに、農地や農業用施設等の湛水被害を未然に防止するため、農地防災事業を推進します。



道路ネットワーク整備事業

市道整備事業〈継続〉

道路改良工事	1億2,020万円
交通安全施設整備等工事	1億940万円
道路維持修繕工事	3,310万円
橋梁点検及び橋梁工事	7,700万円

市民の安全性・利便性の向上を図るため、市道の整備を計画的、効率的に促進し、市街地内の交通量の緩和及び安全で安心なまちづくりを推進します。



生活基盤整備事業

公共下水道事業〈継続〉

10億1,951.7万円

公共下水道事業は、汚水適正処理構想に基づき人口密集区域を重点整備区域として、効率的な整備と事業のコスト縮減の取り組みを進めることとし、佐古木地区・下之割地区・上六地区・五明地区の整備を進めます。

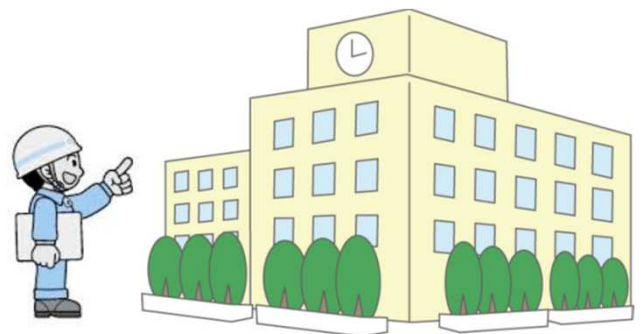


教育環境整備事業

小・中学校施設整備事業〈継続〉

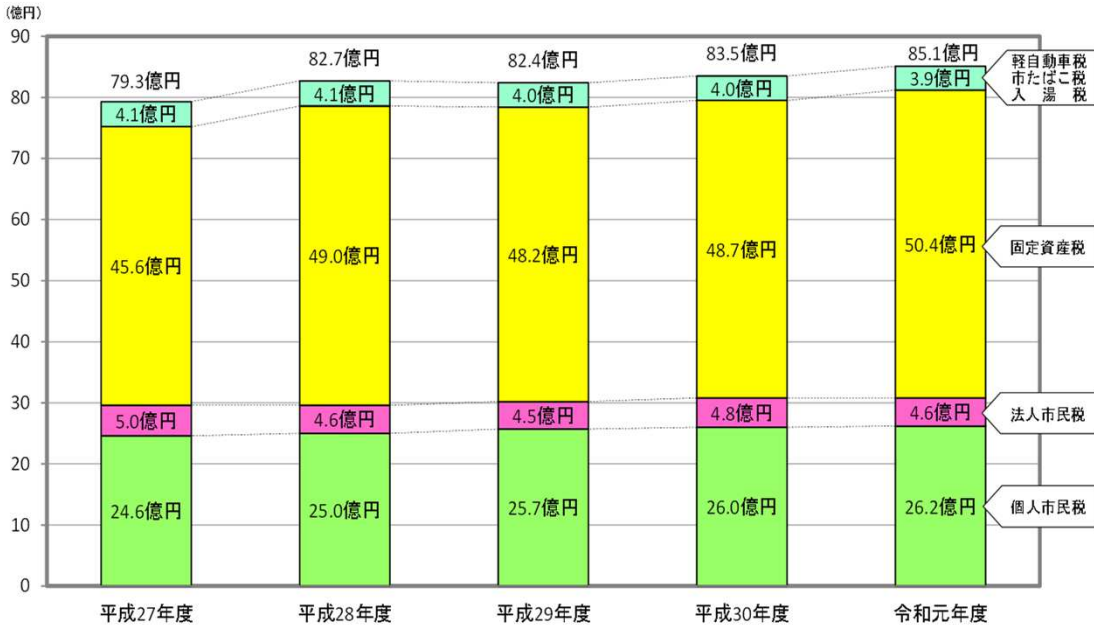
小学校修繕等工事	2,507.8万円
中学校修繕等工事	1,326.7万円

小・中学校の施設・設備について、必要な修繕・改修・整備工事を行います。



参考資料

市税収入の推移



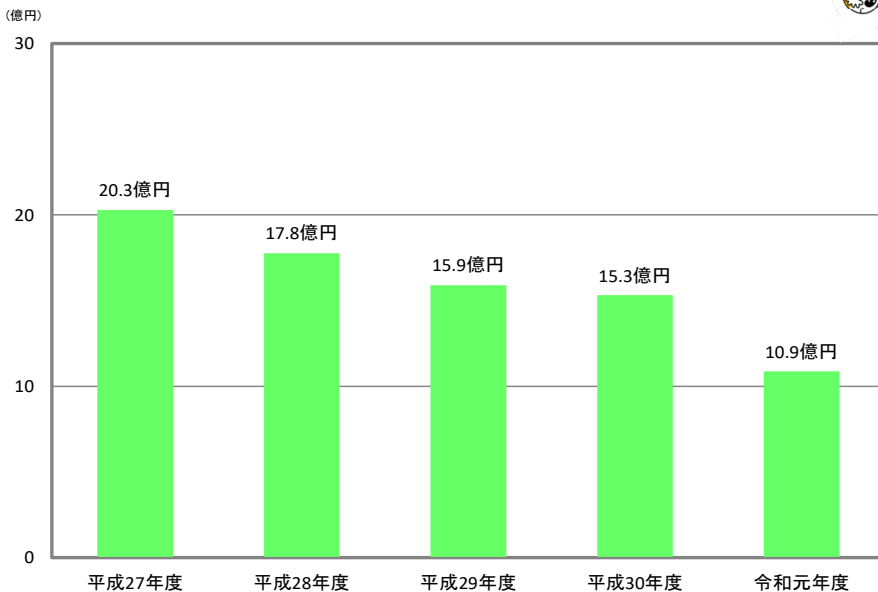
市民の皆さんからお預かりした大切なお金を、市民サービスや各種施策に有効に活用していきます！



平成30年度に比べて、固定資産税が大きく伸びているね。法人市民税は少し下がっているね。



財政調整基金の年度末残高の推移



Dictionary

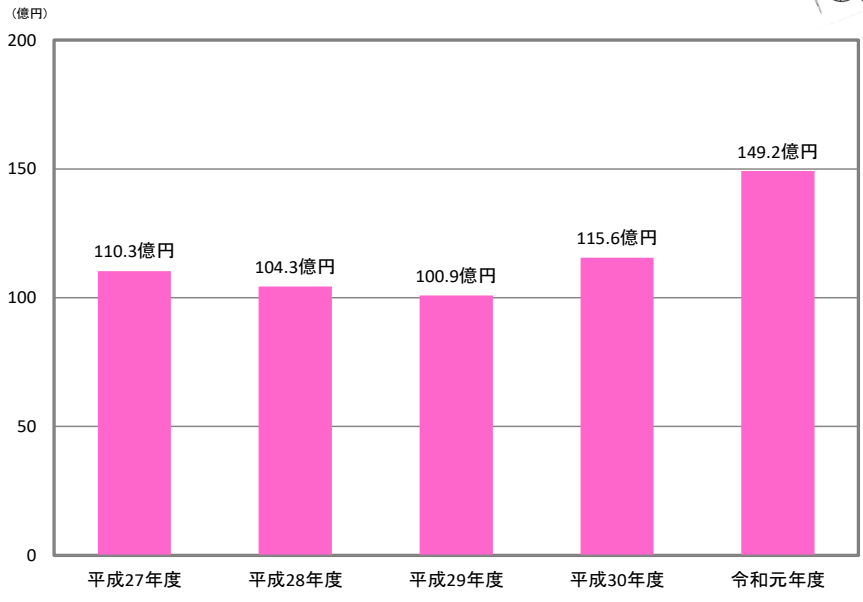
地方公共団体が特定の目的のために積み立てた資金や資金運用のために設けた財産を**基金**といいます。**財政調整基金**は、社会の不況で税収が大幅に減ったり、災害が発生して急にたくさんのお金が必要になった場合などに備えて積み立てている市の**貯金**です。

家庭と同じように、市もいざというときのために、貯えが必要だね。





市債（一般会計分）の年度末残高の推移



Dictionary
 地方公共団体が資金調達のために、国や金融機関などから借りたお金（債務）を**地方債**といい、市が借りたものが**市債**です。この地方債は、何年もの長い期間をかけて返済していくもので、借りた年度内で返済するもの（一時借入金）は含みません。地方債は、お金の使用目的などによって、たくさんの種類があり、その借入先もさまざまです。

市債で借入れをする大きな理由としては、“**毎年の財政負担を平均化すること**”と“**現在と将来の市民の負担を公平にすること**”が挙げられるよ。

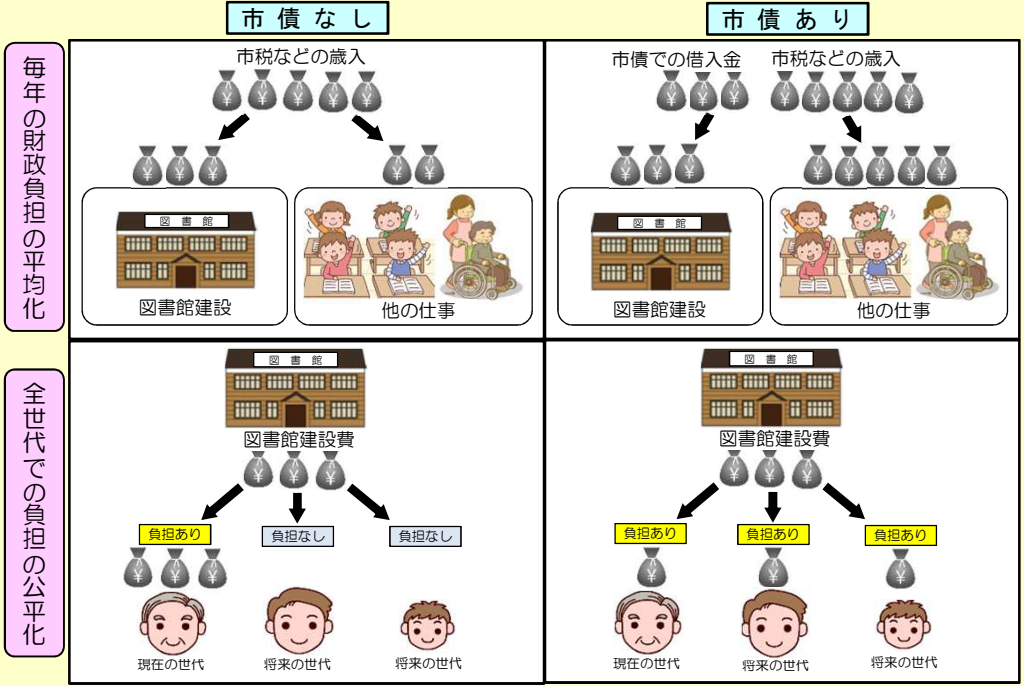


どうして借金をしなければならないの？



市債で借金をすると…

例えば、市が今年度、新しい図書館を建設するとします。大規模な公共施設の建設ですので、当然、多額の費用がかかりますし、建てた図書館は、この先何十年と市民の皆さんに使っていただくこととなります。この建設費を、市債での借入れをせずに、市税などの歳入だけで今年度すべて支出することになると、その分、他の仕事にお金がまわらなくなり、必要な市民サービスの提供に支障を来すこととなります。また、現在の市民が費用を全額負担することになるため、将来の市民は負担なしで使用することになり、世代間の不公平が生じます。そこで、市債での借入れを行い、20年・30年といった長期間にわたって返済をすることによって、他の仕事に影響がないようにするとともに、現在の市民から将来の世代の市民までが平等に建設費を負担するようにしています。





編 集	愛知県弥富市総務部財政課
発行年月	令和2年3月
所 在 地	愛知県弥富市前々須町南本田335
電 話	0567-65-1111(代表)